

日本子ども家庭総合研究所 平成 17 年度 研究業績

1. 学会発表・学会シンポジウム・講演等 (24 件)
2. 研究論文 (32 件)
3. 編著書 (57 件)
4. 報告書 (53 件)
5. その他 (98 件)

1. 学会発表・学会シンポジウム・講演等

- 平山宗宏『最近の予防接種の動向』第 27 回日本小児感染医学会イブニングセミナー (津市), 2005.11.
- 小山 修・齊藤 進・中村 敬ほか『住民組織活動の実態と課題(1)』第 64 回日本公衆衛生学会(札幌市), 2005.9.
- 中嶋 彩・志水美和・高野 陽『母児の初期接触に関する意識調査』第 52 回日本小児保健学会(下関市), 2005.10.
- 宮原 忍・齋藤幸子ほか『少子社会における養育力に関する研究 次世代育成に関するアンケート調査—第 3 報—』第 46 回日本母性衛生学会(宮崎市), 2005.10.
- 堤ちはる・高野 陽ほか『次世代育成支援地域行動計画先行策定市区町村の「食育」の推進に関する分析』第 64 回日本公衆衛生学会(札幌市), 2005.9.
- 堤ちはる・高野 陽ほか『栄養士・保育士養成課程の学生の母乳育児に関する意識調査』第 52 回日本小児保健学会(下関市), 2005.10.
- 齋藤幸子・高野 陽ほか『母子保健と保育所の連携に関するアンケート—第 2 報—保護者の意識調査(1)対象別特徴の把握について』第 52 回日本小児保健学会(下関市), 2005.10.
- 門脇睦美・齋藤幸子・高野 陽ほか『母子保健と保育所の連携に関するアンケート—第 2 報—保護者の意識調査(2)母子保健サービスの有効性について』第 52 回日本小児保健学会(下関市), 2005.10.
- 齊藤 進・小山 修・中村 敬ほか『住民組織活動の実態と課題(2)』第 64 回日本公衆衛生学会(札幌市), 2005.9.
- 安藤朗子・川井 尚ほか『極低出生体重児の発達研究—(1)修正 1 歳半、3 歳、6 歳における発達特徴及び縦断的变化について—』第 52 回日本小児保健学会(下関市), 2005.10.
- 安藤朗子・川井 尚ほか『男子高校生の乳児ふれあい体験について—乳幼児健診におけるボランティア活動に参加して—』第 52 回日本小児保健学会(下関市), 2005.10.
- 高橋重宏『東アジアにおけるソーシャルワーク実践モデル: 個人・家族に対するソーシャルワーク実践』韓国社会福祉学会春期大会(ソウル女子大学), 2005.4.30.
- 有村大士・高橋重宏・才村 純・澁谷昌史・庄司順一ほか『市町村における子ども家庭福祉サービス実施体制のあり方に関する研究』第 53 回日本社会福祉学会(仙台市), 2005.10.
- 高橋重宏『(シンポジウム)多文化社会と保健福祉学』日本保健福祉学会大会(東京大学), 2005.11.26.
- 才村 純・澁谷昌史・有村大士・柏女霊峰・庄司順一ほか『虐待対応等に係る児童相談所の業務分析に関する調査研究』第 53 回日本社会福祉学会(仙台市), 2005.10.
- 柏女霊峰ほか『(自主シンポ)就学前児童の保育・教育と家庭支援を担う専門職のあり方を問う』日本保育学会(東京), 2005.5.
- 柏女霊峰ほか『(シンポジウム)改正児童虐待防止法・児童福祉法の施行と現場の苦悩・展望』日本子ども虐待防止学会第 11 回全国大会(札幌市), 2005.9.
- 斎藤新二・庄司順一ほか『児童福祉施設入所児の家族再統合の実態に関する一考察: 乳児院入所児童の家庭復帰の実態から』第 6 回日本子ども家庭福祉学会(神戸市), 2005.6.
- 有村大士・庄司順一ほか『児童養護施設入所児の家族再統合の実態に関する一考察: 量的調査による実態把握より』第 6 回日本子ども家庭福祉学会(神戸市), 2005.6.
- 澁谷昌史・小山 修・庄司順一・才村 純・有村大士ほか『専門里親制度の実態及び課題に関する研究: 児童相談所里親担当職員への質問紙調査結果を中心に』第 6 回日本子ども家庭福祉学会(神戸市), 2005.6.
- 栗原直樹・澁谷昌史ほか『市町村における子ども虐待に対応する相談員及び相談業務担当職員の研修に関する調査研究』第 6 回日本子ども家庭福祉学会(神戸市), 2005.6.
- 有村大士・高橋重宏・澁谷昌史『事例使用による倫理に関する一考察 (その一): わが国の事例公表における実態把握』第 22 回日本社会福祉実践理論学会(京都市), 2005.6.
- 澁谷昌史・高橋重宏・有村大士・才村 純・安部計彦・前橋信和・村田一昭・伊藤嘉余子・庄司順一『児童相談所が対応する虐待家族の特性及び支援プログラムに関する研究』日本子ども虐待防止学会第 11 回全国大会(札幌市), 2005.9.
- 澁谷昌史『虐待ハイリスク家族への初期援助についての試論』第 53 回日本社会福祉学会(仙台市), 2005.10.

2. 研究論文

- 佐鹿孝子・深沢くに子・平山宗宏「親が障害のあるわが子を受容していく課程での支援(第 3 報): 高等学校 3 年生の親への面接による考察」『小児保健研究』64(3), 2005, 461-468.
- 平山宗宏「社会福祉施設等における感染症対策について」『高崎健康福祉大学総合福祉研究所紀要 健康福祉研究』2(2), 2005, 33-38.
- 高山直秀・崎山 弘・岡部信彦・平山宗宏「結核予防法改正前の全国 BCG ワクチン累積接種率」『日本小児科学会雑誌』110(1), 2006, 14-16.
- 平山宗宏「(特集 1)新予防接種制度と新しいワクチン: 新しい予防接種制度について」『クリニカルプラクティス』25(3), 2006, 2-5.
- 柳澤正義「医療における次世代育成支援」『母子保健情報』52, 2005, 79-83.
- 柳沢正義「小児医療の課題と展望」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑 2006』東京: KTC 中央出版, 2006, 16-24.

- 柳澤正義「成育医療の理念と展望」『医療と保育』4(1), 2005, 3-7.
- 小山 修「(特集)コミュニティと関係性の再構築 公衆衛生と地域組織活動: その変遷と今後の展望」『公衆衛生』70(1), 2006, 14-18.
- 中村 敬「地域における子育て支援—「ひろ場」の実態—」『大正大学研究紀要』第 19 号, 2005, 199-220.
- 中村 敬「生涯にわたる健康を考える」『佛教文化学会紀要』第 14 号, 2005, 9-32.
- 中村 敬「小児保健データ得られる情報とアクセス法」2005, 869-873.
- 高野 陽「(特集)乳幼児への育児のポイント: 外来診療における指導 6 保育所・幼稚園・ベビーシッター」『小児科』46(11), 2005, 1703-1708.
- 堤ちはる・加藤忠明・三橋扶佐子・高野 陽「乳汁栄養法と血中ヘモグロビン濃度に関する縦断的研究」『小児保健研究』64(4), 2005, 602-611.
- 堤ちはる「離乳の進め方「周産期の栄養と食事」」『周産期医学』35(増刊号), 2005, 524-530.
- 堤ちはる「乳幼児健康診査結果の縦断的分析研究: 乳児の栄養法と血中ヘモグロビン濃度の関連性について」『チャイルドヘルス』8(12), 2005, 57-63.
- 堤ちはる「妊産婦の食生活とサプリメント」『助産師』60(1), 2006, 41-51.
- 三橋美和・福本 恵・齋藤幸子・高野 陽ほか「保健師からみた保健所・市町村と保育所の連携」『京都府立医科大学看護学科紀要』14, 2005, 61-69.
- 安藤朗子「(特集)子どものこころの発達を考える ②エリクソンのライフサイクル理論」『チャイルドヘルス』9(3), 2006, 8-11.
- 才村 純「児童福祉サービスにおける利用者保護の現状と課題: 第三者評価と苦情処理システムをめぐって」『社会福祉研究』第 92 号. (財)鉄道弘済会, 2005.4, 63-68.
- 才村 純「児童虐待防止に向けた自治体の役割と今日の論点」『月刊地方自治職員研修』. 公職研, 30-32.
- 才村 純「子ども虐待防止制度の検証: 制度改正から見えてきたもの」『子ども虐待とネグレクト』7(2), 2005, 154-159.
- 才村 純「児童虐待防止制度の動向と保健領域の役割」『小児保健研究』64(5), 2005, 651-659.
- 柏女霊峰「次世代育成支援・子ども家庭福祉施策のゆくえ」『月刊福祉』88(6), 2005, 16-19.
- 柏女霊峰「少子化対策から次世代育成支援対策へ」『母子保健情報』52, 2005, 3-7.
- 柏女霊峰「次世代育成支援の動向と保育の課題」『保育年報 2005』, 2005, 9-15.
- 柏女霊峰「児童相談所運営指針通史」『淑徳大学大学院総合福祉研究科研究紀要』13, 2005, 45-64.
- 庄司順一「早期教育とその問題点」『小児科』46(11), 2005, 1791-1795.
- 庄司順一「子育て支援—三歳児神話・母親神話—」『小児科』47(1), 2006, 121-124.
- 庄司順一「里親とグループホームの現状と課題」『チャイルドヘルス』8(9), 2005, 670-671.
- 庄司順一「発達研究の動向」『チャイルドヘルス』9(3), 2006, 152-155.
- 庄司順一「育児性の発達—親になることの意味とむずかしさ—」『チャイルドヘルス』9(3), 2006, 181-184.
- 川井 尚「(特集)乳幼児への育児のポイント: 外来診療における指導 8 育児とその役割分担」『小児科』46(11), 2005, 1713-1717.

3. 編著書

- 平山宗宏・中村 敬・川井 尚編『育児の事典』東京: 朝倉書店, 2005.
- 平山宗宏・石井裕正・高石昌弘監修『アルコールと健康』東京: (社)アルコール健康医学協会, 2005.
- 平山宗宏・渡辺悌吉『予防接種 現場で役立つ Q&A』東京: 日本小児医事出版社, 2005.
- 柳澤正義・衛藤義勝・五十嵐隆編集主幹『先端医療シリーズ 34: 小児科の新しい流れ』東京: 先端医療技術研究所, 2005.
- 小山 修「少子化の経過と要因」「子育てと仕事の両立」「ヘルスプロモーション」平山宗宏・中村敬・川井尚編『育児の事典』東京: 朝倉書店, 2005, 13-14, 15-17, 504-508.
- 小山 修「Q8 専門里親とはどのような里親ですか?」「Q56 魅力ある里親研修にするためには、どうしたらよいでしょうか?」「Q57 里親にはどのような研修がありますか?」「Q58 専門里親にはどのような研修がありますか?」庄司順一編著『Q&A 里親養育を知るための基礎知識』東京: 明石書店, 2005, 38-39, 188-189, 190-191, 192-193.
- 松田正巳・奥野ひろみ・菅原スミ・藤井達也・小山 修編著『やってみようプライマリヘルスケア 変わりゆく世界と 21 世紀の地域健康づくり』第 2 版. 埼玉: やどかり出版, 2006, 116-131.
- 中村 敬「第 4 章 子どもの健康」『育児サポート 2』東京: (財)女性労働協会, 2005, 105-169.
- 高野 陽「第 3 章 発育と発達」「第 6 章 子どもの事故と安全」『育児サポート 2』東京: (財)女性労働協会, 2005, 52-104, 207-240.
- 高野 陽・西村重稀編『保育保健活動の実際: 新しい時代の子育て支援をめざして』初版. 東京: 全国社会福祉協議会, 2006, 1-139.
- 宮原 忍「思春期」「性行動と性教育」平山宗宏・中村敬・川井尚編『育児の事典』東京: 朝倉書店, 2005, 134-137, 138-139.
- 堤ちはる「第 II 部 人間成長と食教育の理論: 総合科学としての展開 4. 栄養・健康科学からの食教育」大村省吾・川端晶子編『食教育論: 豊かな食を育てる』京都: 昭和堂, 2005, 94-113.
- 堤ちはる「第 48 章 経腸栄養 合併症(翻訳)」渡邊早苗・寺本房子・他監訳(原著名: Manual of Clinical Dietetics sixth edition) 日本語版. 東京: 第一出版, 2005, 511-517.
- 堤ちはる「第 3 章 栄養・食生活の基礎知識, 栄養・食生活の基礎知識」水野清子ほか編『改訂・保育士養成講座 2006』第 6 巻 小児栄養. 東京: 全国社会福祉協議会, 2006.2, 50-72.
- 齋藤幸子「第 I 章第 2 節-2 保護者が期待する保育園の保健活動」高野陽・西村重稀編『保育保健活動の実際: 新しい時代の子育て支援をめざして』初版. 東京: 全国社会福祉協議会, 2006, 25-28.
- 齊藤 進「地域の子育て支援ネットワーク—愛育班、母子保健推進員」平山宗宏・中村敬・川井尚編『育児の事典』東京:

朝倉書店, 2005, 377-380.

齊藤 進「生涯学習支援の計画づくり」蛭田道春編著『第 1 章第 4 節 4. 母子保健・児童福祉計画づくり、5. 地域行動計画の策定』東京: 日常出版, 2005, 76-104.

安藤朗子「日常家庭生活」「子どもと遊び」「子どもと玩具」「発達検査法とその使い方」平山宗宏・中村敬・川井尚編『育児の事典』東京: 朝倉書店, 2005, 148-151,164-166,167-168,104-107.

安藤朗子「第 1 編 2(4)母子保健における心の健康支援」中林正雄・安達知子監修『この道のプロとなるための母と子の健康教育: 妊産婦の保健相談・子育て支援』初版. 神奈川: ライフ・サイエンス・センター, 2005, 27-30.

安藤朗子「第 II 章第 3 節-4 低出生体重児の保育と療育」高野陽・西村重稀編『保育保健活動の実際: 新しい時代の子育て支援をめざして』初版. 東京: 全国社会福祉協議会, 2006, 94-96.

高橋重宏監訳「ファミリー・グループ・カンファレンス (FGC)」初版. 東京: 有斐閣, 2005. (原書名: Effective Participatory Practice. By M.Connolly, M.McKenzie,1999)

才村 純「児童福祉論」『新版・社会福祉学習双書 4』東京: 全国社会福祉協議会, 2005, 70-186,236-246.

才村 純「児童虐待」平山宗宏・中村敬・川井尚編『育児の事典』東京: 朝倉書店, 2005, 474-481.

才村 純『子ども虐待ソーシャルワーク論: 制度と実践への考察』東京: 有斐閣, 2005.

才村 純「Q3 社会的養護の最近の動向について教えてください」「Q22 児童相談所とはどういうところですか?」「Q23 児童家庭支援センターとはどういうところですか?」庄司順一編著『Q&A 里親養育を知るための基礎知識』東京: 明石書店, 2005, 20-23,84-87,88-89.

才村 純「虐待防止支援」小谷英文編著『現代のエスプリ別冊 心の安全空間—家庭・地域・学校・社会—』東京: 至文堂, 2005, 197-209.

才村 純「子ども虐待対応の手引き」改定の背景とポイント」日本子ども家庭総合研究所編『子ども虐待の対応と手引き (平成 17 年 3 月 25 日改訂版)』東京: 有斐閣, 2005, 375-386.

才村 純『子どもの虐待の予防とケアのすべて(追録)』東京: 第一法規, 2005.

才村 純『子ども・家族の相談援助をするために: 市町村児童家庭相談援助指針・児童相談所運営指針』(財)日本児童福祉協会. 2005, 364-474.

才村 純「第 3 章第 1 節 児童福祉の法制度、第 2 節 児童福祉の実施体制、第 4 章第 1 節 被虐待児童のための福祉サービス、第 2 節 非行児童、情緒障害児のための福祉サービス、第 7 章 少子社会における施策の動向、資料編」新版・社会福祉学習双書編集委員会『新版・社会福祉学習双書 2006』第 4 巻 児童福祉論. 東京: 全国社会福祉協議会, 2006, 80-97,98-118,126-137,138-145,254-282,283-296.

高橋重宏・才村 純編著『社会福祉選書 4(改訂) 子ども家庭福祉論. 東京: 建帛社, 2006, 28-71,90-118.

才村 純ほか「児童福祉」柏女霊峰・才村純執筆代表『改訂・保育士養成講座』第 2 巻. 東京: 全国社会福祉協議会, 2006, 49-170.

才村 純ほか「児童福祉の新展開」岸井勇雄ほか監修『保育・教育ネオシリーズ 6』同文書院, 2006, 79-106.

柏女霊峰『次世代育成支援と保育』東京: 全国社会福祉協議会, 2005.

柏女霊峰「児童福祉法」「児童の権利に関する条約」平山宗宏・中村敬・川井尚編『育児の事典』東京: 朝倉書店, 2005, 489-490,494-496.

柏女霊峰ほか『児童虐待: 防止のためのポイント』東京: 年友企画, 2005.

柏女霊峰編著『市町村発子ども家庭福祉』京都: ミネルヴァ書房, 2005.

柏女霊峰「第 1 章 子ども・子育てを取り巻く環境」『育児サポート 2』東京: (財)女性労働協会, 2005, 1-25.

柏女霊峰「子育て支援の専門性の向上」武藤隆・網野武博・神長美津子編『幼稚園・保育所の経営ビジョン』東京: ぎょうせい, 2005, 200-210.

柏女霊峰「保育の政策的課題とその対応」日本保育協会企画情報部編『日本保育協会四十年の歩み』日本保育協会, 2005, 72-74.

柏女霊峰『現代児童福祉論』第 7 版. 東京: 誠信書房, 2006.

柏女霊峰・網野武博・新保幸男編『児童福祉文献ライブラリー 児童福祉基本法制 I・II』東京: 日本図書センター, 2006.

柏女霊峰・山縣文治編集代表『社会福祉用語辞典』第 5 版. 東京: ミネルヴァ書房, 2006.

柏女霊峰「第 4 章第 7 節 保育サービス」新版・社会福祉学習双書編集委員会『新版・社会福祉学習双書 2006』第 4 巻 児童福祉論. 東京: 全国社会福祉協議会, 2006, 181-191.

庄司順一監訳『子ども虐待対応ハンドブック: 通告から調査・介入そして終結まで』東京: 明石書店, 2005. (原書名: Handbook for Child Protection Practice. By H.Dubowitz & D.DePanfilis).

庄司順一「児童福祉施設」「里親」平山宗宏・中村敬・川井尚編『育児の事典』東京: 朝倉書店, 2005, 450-453,454-455.

Junichi Shoji「CHILD ABUSE IN JAPAN: Developmental, Cultural, and Clinical Perspectives」David W.Shwalb, Jun Nakazawa,and Barbara J.Shwalb, ed.『APPLIED DEVELOPMENTAL PSYCHOLOGY:Theory, Practice, and Research from Japan. America』Information Age Publishing, 2005, 261-279.

児童自立支援計画研究会編(相澤 仁・庄司順一・菅原ますみ編集委員)『子ども・家族への支援計画を立てるために: 子ども自立支援計画ガイドライン』東京: (財)日本児童福祉協会, 2005.

庄司順一編著『Q&A 里親養育を知るための基礎知識』東京: 明石書店, 2005.

庄司順一「第 7 章 障害のある子どもの預かりについて」『育児サポート 2』東京: (財)女性労働協会, 2005, 241-263.

庄司順一「第 2 章第 2 節 現代社会と児童の成長・発達、第 4 節 児童虐待」新版・社会福祉学習双書編集委員会『新版・社会福祉学習双書 2006』第 4 巻 児童福祉論. 東京: 全国社会福祉協議会, 2006, 55-59,66-77.

庄司順一「第 7 章 病気の子どもの心理」帆足英一監修『必携・新病児保育マニュアル』全国病児保育協議会, 2005, 71-85.

澁谷昌史「育児の費用」「生活の質」「子どもの価値」「子どもへの期待」「育児支援のための公的負担のあり方」「母子保健法」平山宗宏・中村敬・川井尚編『育児の事典』東京: 朝倉書店, 2005, 430-432,433-434,435-436,437-439,491-493.

- 澁谷昌史「Q2 社会的養護とはどういうことですか?」「Q28 グループホームについて教えてください」「Q45 ファミリー・ブリザベーション(家族保全)について教えてください」庄司順一編著『Q&A 里親養育を知るための基礎知識』東京：明石書店，2005，18-19,100-103,154-157.
- 澁谷昌史訳「第4章 国際的展開、第5章 わかり始めた家族意思決定実践の複雑性」高橋重宏監訳『ファミリー・グループ・カンファレンス(FGC)』初版。東京：有斐閣，2005，75-95,97-116。(原書名：Effective Participatory Practice. By M.connolly, Margaret McKenzie.1999).
- 澁谷昌史「第1章1. 少子・高齢化社会と児童福祉、第1章2. 児童虐待と児童福祉」古川繁子・加藤定夫編『シリーズ事例で学ぶ7』児童福祉論。東京：学文社，2006，18-19,20-21.
- 澁谷昌史「第4章第4節 ひとり親家庭のための福祉サービス、第6節 児童の健全育成サービス、第8節 子育て支援サービス」新版・社会福祉学習双書編集委員会『新版・社会福祉学習双書2006』第4巻 児童福祉論。東京：全国社会福祉協議会，2006，156-163,174-180,192-198.

4. 報告書

- 柳澤正義・斉藤 進ほか「平成 14、15 年度小児慢性特定疾患治療研究事業の全国登録状況」平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究(主任研究者 加藤忠明)』分担研究報告書。2005，9-30.
- 柳澤正義・斉藤 進ほか「今後の小児慢性特定疾患医療意見書」平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究(主任研究者 加藤忠明)』分担研究報告書。2005，31-44.
- 柳澤正義ほか「他科との協働のあり方に関する研究」平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『小児科産科若手医師の確保・育成に関する研究(主任研究者 鴨下重彦)』分担研究報告書。2005，340-346.
- 柳澤正義ほか『子どもの心の診療に携わる専門人材の育成に関する研究』平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)。総括・分担研究報告書。2006，1-138.
- 加藤忠明・柳澤正義・斉藤 進ほか「平成 15 年度小児慢性特定疾患治療研究事業の全国登録状況」平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究(主任研究者 加藤忠明)』。分担研究報告書。2006，8-26.
- 加藤忠明・柳澤正義ほか「小児慢性特定疾患の登録・評価・情報提供に関する研究：小児慢性特定疾患治療研究事業の対象基準設定に伴う対象児数の変化予測(悪性新生物、ネフローゼ症候群)」平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究(主任研究者 加藤忠明)』。分担研究報告書。2006，38-40.
- 中村 敬・高野 陽・堤ちはる・齋藤幸子ほか「乳幼児健診システムに関する全国実態調査」平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『新しい時代に即応した乳幼児健診のあり方に関する研究(主任研究者 高野陽)』。分担報告書。2006，4-25.
- 高野 陽・小山 修・齋藤幸子・佐藤紀子・浦園その子・村中峯子・野沢秀之『地域の児童館等における思春期児童と赤ちゃんとふれ合い交流の促進に関する調査研究(主任研究者 高野陽)』平成 17 年度児童関連サービス調査研究等事業報告書。(財)こども未来財団，2006，1-131.
- 高野 陽・中村 敬・堤ちはる・齋藤幸子ほか『新しい時代に即応した乳幼児健診のあり方に関する研究(主任研究者 高野陽)』平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)。総括・分担研究報告書。2006，1-125.
- 高野 陽・齋藤幸子ほか「乳幼児健診と保育所の対応」平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『新しい時代に即応した乳幼児健診のあり方に関する研究(主任研究者 高野陽)』。分担報告書。2006，80-85.
- 堤ちはる「食事が子どもを変える」平成 16 年度独立行政法人福祉医療機構(子育て支援基金)助成事業『食育支援推進の啓発普及事業報告書』。2005，14-17.
- 堤ちはる「「食」を通して育まれるもの」平成 16 年度独立行政法人福祉医療機構(子育て支援基金)助成事業『食育支援推進の啓発普及事業報告書』。2005，30.
- 堤ちはる ほか『授乳・離乳の新たなガイドライン策定のための枠組みに関する研究(主任研究者 堤ちはる)』平成 17 年度児童関連サービス調査研究等事業報告書。(財)こども未来財団，2006，1-230.
- 堤ちはる・三橋扶佐子「乳幼児健康診査における食育，栄養教育のあり方に関する研究」平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『新しい時代に即応した乳幼児健診のあり方に関する研究(主任研究者 高野陽)』。分担報告書。2006，115-125.
- 堤ちはる「II-2. 児童養護施設の食事環境に関する調査研究」平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『子どものライフステージにおける社会的養護サービスのあり方に関する研究(主任研究者 庄司順一)』。分担報告書。2006，80-107.
- 堤ちはる「食事が子どもを変える」食育支援ネットワーク会議『平成 17 年度幼児期からの健康食習慣づくり事業報告集』。尼崎保健所，2006，1-9.
- 堤ちはる『妊産婦のための食生活指針ー「健やか親子 21」推進検討会報告書』。2006.2.
- 斉藤 進ほか「小児慢性特定疾患治療研究事業における医療機関名など情報提供のあり方」平成 16 年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)『小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究(主任研究者 加藤忠明)』。分担研究報告書。2005，52-56.
- 斉藤 進ほか「小児慢性特定疾患治療研究事業システムに関する研究ー小児慢性特定疾患登録・管理ソフトの開発方針と利用実態ー」平成 16 年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)『小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究(主任研究者 加藤忠明)』。分担研究報告書。2005，134-148.

- 齊藤 進ほか「平成 14、15 年度小児慢性特定疾患治療研究事業の疾患群別、男女別、都道府県・指定都市・中核市別、診断時・発病時年齢階級別、登録者数」平成 16 年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)『小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究(主任研究者 加藤忠明)』。分担研究報告書。2005, 149-221.
- 齊藤 進「子育て支援と家庭教育支援」『大正大学社会教育主事課程報告書』第 6 号, 2005, 81-85.
- 齊藤 進ほか『小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究(主任研究者 加藤忠明)』平成 17 年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)。分担研究報告書。2006.3, 8-26,36-37,142-143,183.
- 齊藤 進ほか『放課後児童クラブの安全と衛生に関する調査研究(主任研究者 詫間晋平)』平成 16 年度児童関連サービス調査研究等事業報告書。2005, 4-10,20,52-53.
- 齊藤 進ほか『父親プロジェクト調査研究レポート』NPO 法人新座子育てネットワーク, 2006.3, 16-24.
- 齊藤 進ほか『IT を活用した次世代型家庭教育支援手法開発事業』東京子どもセンター成果報告書。東京子どもセンター設立委員会, 2006.3, 29-30.
- 加藤忠明・齊藤 進ほか「小児慢性特定疾患治療研究事業の講習会のあり方」平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究(主任研究者 加藤忠明)』。分担研究報告書。2006, 36-37.
- 齊藤 進・加藤忠明・小山 修ほか「小児慢性特定疾患登録・管理ソフトの開発」平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究(主任研究者 加藤忠明)』。分担報告書。2006, 142-144.
- 加藤忠明・齊藤 進ほか「平成 15、16 年度小児慢性特定疾患治療研究事業の疾患群別、男女別、都道府県・指定都市・中核市別、診断時・発病時年齢階級別、登録者数」平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究(主任研究者 加藤忠明)』。分担報告書。2006, 183-255.
- 高橋重宏・澁谷昌史ほか『地域における児童虐待の早期発見及び解決に向けた被虐待児・親を支援する人材養成事業(最終報告)』(社)日本社会福祉士会(児童問題委員会) 独立行政法人福祉医療機構(子育て支援基金)助成事業。2006.3.
- 才村 純・澁谷昌史・佐久間てる美・有村大士ほか『児童相談所における児童の安全確認・安全確保の実態把握及び児童福祉法第 28 条に係る新たな制度運用の実態把握に関する調査研究(主任研究者 才村純)』平成 17 年度児童関連サービス調査研究等事業報告書。(財)こども未来財団 2006, 1-89.
- 才村 純「I-4. パーマネンシーの保障に向けて」平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『子どものライフステージにおける社会的養護サービスのあり方に関する研究(主任研究者 庄司順一)』。分担報告書。2006, 28-31.
- 才村 純・澁谷昌史・有村大士・佐久間てる美ほか『保育所、学校等関係機関における虐待対応のあり方に関する調査研究(主任研究者 才村純)』平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)総括研究報告書。2006.3, 1-196.
- 才村 純ほか「学校等における児童虐待防止に向けた取組について」『文部科学省・学校等における児童虐待防止に向けた取組に関する調査研究会議報告書』。2006.3, 11-27.
- 柏女霊峰・澁谷昌史・尾木まり・新保幸男ほか『子ども家庭福祉サービス供給体制のあり方に関する総合的研究』厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)報告書。2005.3, 1-131.
- 柏女霊峰ほか『児童虐待による死亡事例の検証結果等について(第 1 次報告)』児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会報告。2005.4.
- 柏女霊峰ほか『児童虐待による死亡事例の検証結果等について(第 2 次報告)』児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会報告。2006.3.
- 柏女霊峰ほか『児童虐待死亡ゼロに向けて』千葉県, 2005.
- 柏女霊峰・庄司順一ほか『千葉県における社会的資源のあり方について』千葉県, 2005.
- 柏女霊峰・庄司順一ほか『千葉県における県立児童福祉施設(富浦学園・生実学校・乳児院)のあり方について』千葉県, 2005.
- 柏女霊峰・澁谷昌史・網野武博ほか『子ども家庭福祉サービス供給体制のあり方に関する総合的研究』平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業) 総括・分担研究報告書。2006, 1-151.
- 柏女霊峰・澁谷昌史・網野武博ほか『子ども家庭福祉サービス供給体制のあり方に関する総合的研究』平成 16-17 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)。総合研究報告書。2006.
- 柏女霊峰ほか『平成 16 年度助成事業に関する事後評価報告』独立行政法人福祉医療機構基金事業審査・評価委員会評価部会, 2006.3.
- 柏女霊峰ほか『放課後児童クラブにおけるガイドライン(仮称)に関する調査研究報告書』平成 17 年度児童関連サービス調査研究等事業報告書。みずほ情報総研, 2006.3.
- 柏女霊峰ほか『千葉県の福祉サービス第三者評価・情報公表事業の検討結果』千葉県福祉サービス第三者評価検討委員会, 2006.3.
- 柏女霊峰ほか『認証保育所のあり方に関する研究会』報告書。東京都認証保育所協会, 2005, 1-24.
- 柏女霊峰ほか『改正里親制度普及啓発事業報告書』全国里親会, 2006.
- 柏女霊峰ほか『子ども虐待対応マニュアル』千葉県, 2006.3.
- 庄司順一ほか『社会的養護の下に育つ子どもたちへの自立支援のあり方—少子社会の進展と子どもたちの自立支援(中間のまとめ)—』東京都児童福祉審議会, 2005.8.
- 庄司順一・澁谷昌史・有村大士ほか「子どもの心の診療に携わるコメディカル・スタッフの育成に関する研究」平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究(主任研究者 柳澤正義)』。分担研究報告書。2006, 112-126.

- 庄司順一・藤岡孝志ほか『子どものライフステージにおける社会的養護のあり方に関する研究』平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)。総括・分担研究報告書。2006, 1-127.
- 片岡玲子・植木信一・澁谷昌史・山本克彦・渡部博昭『児童福祉文化財の効果的な普及に関する調査研究(主任研究者 片岡玲子)』平成 17 年度児童関連サービス調査研究事業報告書。(財)こども未来財団, 2006, 1-102.
- 澁谷昌史ほか「虐待防止施策及び社会的養護について」平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『子ども家庭福祉サービス供給体制のあり方に関する総合的研究(主任研究者 柏女霊峰)』分担研究報告書。2006, 19-35.
- 澁谷昌史「I-5. 児童福祉施設の小規模化に関する先行研究」平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『子どものライフステージにおける社会的養護サービスのあり方に関する研究(主任研究者 庄司順一)』。分担報告書。2006, 32-42.

5. その他

- 平山宗宏「はじめに」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑 2006』。東京：KTC 中央出版, 2006.3.
- 柳澤正義「少子化社会における小児保健・医療と研究」『ヒューマンサイエンス』16(2), 2005, 3.
- 柳澤正義「専門医制度の整備と充実」『小児科産科若手医師の確保・育成に関する研究 News Letter』(8), 2005.
- 柳澤正義「ラオス国を訪問して」『小児科診療』68(5), 2005, 759.
- 柳澤正義「子どもの心の診療」『小児保健研究』64(5), 2005, 649.
- 柳澤正義「「健やか親子 21」の目指すもの」『厚生労働』60(11), 2005, 4-6.
- 柳澤正義「子どもの心の問題に対応できる医師を増やすために」『厚生労働』60(11), 2005, 22-23.
- 柳澤正義「(年頭座談会)今年の母子保健の重要課題:「健やか親子 21」中間報告をふまえた今後の課題,「子ども・子育て応援プラン」から」『月刊母子保健』(561), 2006, 2-5.
- 柳澤正義「(書評)児童虐待イニシアルマネジメント:われわれはいかに関わるべきか」『内科』97(5), 2006, 878.
- 小山 修「関連団体情報 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 日本子ども家庭総合研究所」『ハートライン:子ども虐待の予防とケアのすべて』23, 2005, 10-11.
- 小山 修「XI. 子どもをめぐる生活環境」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑 2006』東京：KTC 中央出版, 2006, 369.
- 中村 敬「子育て支援における住民活動と行政との協働」日本子ども家庭総合研究所『「愛育ねっと」解説コーナー (http://www.aiiku.or.jp/aiiku/jigyoo/contents/kaisetsu/ks0504/ks0504_2.htm)』。2005.
- 中村 敬「子育て支援の実践」日本子ども家庭総合研究所『「愛育ねっと」子育て支援の実践 (<http://www.aiiku.or.jp/aiiku/jigyoo/contents/shien/sh0602/sh0602.htm>)』。2006.
- 中村 敬(検討委員会委員長)『要支援家庭の把握と支援のための母子保健事業ガイドライン』。東京都福祉保健局, 2006.
- 中村 敬(検討委員会委員長)『医療機関のための子育て支援ハンドブック』。東京都福祉保健局, 2006.
- 中村 敬(編集委員)『板橋区子育て支援者研修テキスト』。東京都板橋区児童女性部, 2006.
- 高野 陽「IV. 保健・医療」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑 2006』。東京：KTC 中央出版, 2006, 101.
- 宮原 忍「今月のブックガイド 世界を変えた 2 人の女性」『現代性教育研究月報』23(6), 2005, 14.
- 宮原 忍「今月のブックガイド ともだちのワ!!!」『現代性教育研究月報』23(9), 2005, 13.
- 宮原 忍「今月のブックガイド エリクソンのアイデンティティ」『現代性教育研究月報』23(12), 2005, 13.
- 宮原 忍「今月のブックガイド 成長の限界 人類の選択」『現代性教育研究月報』24(3), 2006, 14.
- 堤ちはる「赤ちゃんはやせたくない!体格指数で体重管理を」『毎日新聞朝刊』2005.10.21, 13 面.
- 堤ちはる「赤ちゃん ABC 食事⑧ 親が手本 バランス考えて」『読売新聞朝刊』2005.10.31, 18 面.
- 堤ちはる「(基調講演)食育基本法の概要と乳児期における食育について」『健康づくりシンポジウム～食を通じた子どもの健全育成(食育)～』。鹿沼市民情報センター(主催:県西健康福祉センター地域保健栄養業務推進協議会, 上都賀地方マーケティング協会, 県西健康福祉センター, 上都賀農業振興事務所)。2005.11.25.
- 堤ちはる「V. 栄養・食生活」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑 2006』東京：KTC 中央出版, 2006, 153.
- 中林正雄・堤ちはる『妊娠期・授乳期ママの栄養 mini ガイド あなたの食事はだいじょうぶ?』(財)母子衛生研究会, 2006, 1-16.
- 堤ちはる『家族のご飯といっしょにつくる離乳食レシピ. mammy note(マミーノート)』(財)母子衛生研究会, 2006, 15-27.
- 堤ちはる「朝食欠食とダイエットによる弊害」『保健 学校保健会会誌(平成 17 年度版)』渋谷区学校保健会, (41), 2006, 1-22.
- 齋藤幸子「IX. 子どもの生活・文化・意識と行動」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑 2006』東京：KTC 中央出版, 2006, 299.
- 齊藤 進「I. 人口動態と子ども」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑 2006』東京：KTC 中央出版, 2006, 25
- 安藤朗子「シンポジウム A 小児保健と周産期医療:ハイリスク児をめぐる, ハイリスク児の保育所生活:極低出生体重児の保育諸調査から」『小児保健研究』64(2), 2005, 233-236.
- 安藤朗子「VII. 教育」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑 2006』東京：KTC 中央出版, 2006, 221.
- 才村 純「児童虐待問題の深刻化とその背景」『小四教育技術(連載第 1 回)』5 月号, 小学館, 2005, 74.
- 才村 純「まえがき」加藤曜子編著『市町村児童虐待防止ネットワーク』東京：日本加除出版, 2005.
- 才村 純「児童虐待とは何か」『小四教育技術(連載第 2 回)』6 月号, 小学館, 2005, 74.
- 才村 純「児童虐待の実態」『小四教育技術(連載第 3 回)』7・8 月号, 小学館, 2005, 74.

- 才村 純 「(特集座談会)地域のみinnで児童虐待をストップ」『保育の友』7月号, 2005, 10-25.
- 才村 純 ほか, 「児童虐待予防および今後の新たな母子保健についての意見交換(研究会講演録)」平成 16 年度地域保健総合推進事業『児童虐待の予防の推進及び新たなニーズに対応する母子保健事業に関する研究』報告書, 2005, 33-49.
- 才村 純 「虐待を受けた子どもを保護する仕組み」『小四教育技術(連載第 4 回)』9月号, 2005, 74.
- 才村 純 「現代の病理～児童虐待: 関係機関の役割」『小四教育技術(連載第 5 回)』10月号, 2005, 74.
- 才村 純 「子どもを虐待から守る方法とは」『marie claire』11月, アジエット婦人画報社, 2005.
- 才村 純 「(著者インタビュー)子ども虐待ソーシャルワーク論」『教育医事新聞社』8.25, 2005.
- 才村 純 「現代の病理～児童虐待: 児童虐待と学校の役割ー虐待を早期に発見するにはー」『小四教育技術(連載第 6 回)』11月号, 2005, 8.
- 才村 純 「現代の病理～児童虐待: 虐待を疑ったら」『小四教育技術(連載第 7 回)』12月号, 2005, 8.
- 才村 純 「子ども虐待ソーシャルワークの理論的確立をめざして: 『子ども虐待ソーシャルワーク論』の刊行によせて」『書齋の窓』, 2005.
- 才村 純 「現代の病理～児童虐待: 虐待が疑われる親や子どもにどうかかわるか」『小四教育技術(連載第 8 回)』1月号, 2005, 8.
- 才村 純 「現代の病理～児童虐待: 関係機関といかに連携するか」『小四教育技術(連載第 9 回)』2月号, 2005, 8.
- 才村 純 「現代の病理～児童虐待: 虐待防止制度の課題虐待」『小四教育技術(連載第 10 回)』3月号, 2006, 8.
- 才村 純 「(書評)『子ども虐待対応ハンドブック』庄司順一監訳. 子どもの虐待とネグレクト」. 日本子ども虐待防止学会, 7(3), 2005, 365-367.
- 才村 純(アドバイザー)『市町村児童虐待対応の手引き』. 広島県保健福祉部, 2005.3.
- 才村 純(企画編集)『子どもの笑顔に出会えるために: 乳幼児保育者のための虐待防止ガイドブック』. (財)母子衛生研究会, 2006.3.
- 才村 純 「VI. 子どもと家族の福祉」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑 2006』東京: KTC 中央出版, 2006, 181-220.
- 才村 純 「(講演録)家庭支援専門相談員の役割と実践について」『第 20 回関東ブロック児童養護施設職員研修会報告書』. 第 20 回関東ブロック児童養護施設職員研修会実行委員会, 2006.1.
- 才村 純 「(インタビュー録)子ども虐待防止と保育所の役割」『子ども虐待防止のための乳幼児保育者等啓発事業報告書』. (財)母子衛生研究会, 2006.3.
- 才村 純 「虐待予防と子育て支援ネットワーク: 深刻化する子ども虐待問題と子育て不安」『みんなで子育て: 子育てネットワークによる小・中学生交流事業報告書』(財)児童育成協会, 2006.2.
- 才村 純 「(講演録)深刻化する児童虐待～私たちにできること」奈良県教育委員会事務局生涯学習課, 2006.3.
- 柏女 霊峰 「インタビュー・理念と制度の実践と融合を求めて(上)」『月刊福祉』88(6), 2005, 10-13.
- 柏女 霊峰 「行動計画策定の背景と意義を考える」『こども未来』4(403), 2005, 20-21.
- 柏女 霊峰 ほか 「(対談)理念と制度と方法の融合を求めて(下)」『月刊福祉』88(7), 2005, 10-13.
- 柏女 霊峰 「「保育士会だより」 合本作成によせて」『保育士会だより縮刷版』101号-200号, 2005, 1-5.
- 柏女 霊峰 「子ども・子育てにやさしい社会づくりのために」『公共建築』47(185), 2005, 14-15.
- 柏女 霊峰 ほか 「こどもと地域とみんなの未来ー松戸市次世代育成支援行動計画」松戸市, 2005, 3.
- 柏女 霊峰 「児童虐待による死亡事例の検証結果等について」日本子ども家庭総合研究所『愛育ねっとトピックス』6月号, 2005.
- 柏女 霊峰 「社会の変化と子ども家庭福祉」『NHK 社会福祉セミナー』18(59), 2005, 44-48.
- 柏女 霊峰 「子ども家庭福祉の制度」『NHK 社会福祉セミナー』18(59), 2005, 49-53.
- 柏女 霊峰 「保育サービスを考える」『NHK 社会福祉セミナー』18(59), 2005, 54-57.
- 柏女 霊峰 「子ども虐待防止を考える」『NHK 社会福祉セミナー』18(59), 2005, 58-61.
- 柏女 霊峰 「新たな子ども家庭相談体制」『こども未来』407, 2005, 7-9.
- 柏女 霊峰 「(日本司法福祉学会第 5 回大会分科会報告) 児童虐待防止: 司法と福祉の新しい関係」『司法福祉学研究』5, 2005, 88-94.
- 柏女 霊峰 「次世代育成支援施策のゆくえ」『次世代育成支援ニュースレター』5, 2005, 2.
- 柏女 霊峰 「児童虐待防止法制度改正と自治体」『自治フォーラム』552, 2005, 2-3.
- 柏女 霊峰 「(15 回連載)みんなで子育てする社会へ」『公明新聞』2005.10.21 付ー11.24, 2005, 10-11.
- 柏女 霊峰 「(巻頭言)次世代育成支援」『母子保健情報』52, 2005, 1-2.
- 柏女 霊峰 「(講演録)発達障害者支援法と障害者自立支援法案: その目的・趣旨、展望、課題」『SSKP みち』(3036), 2005, 7-15.
- 柏女 霊峰 「統計分科会委員としての私」『厚生労働統計通信』31, 2006, 2.
- 柏女 霊峰 ほか 「第 6 分科会 幼稚園と保育所の連携」『第 54 回全国幼稚園教育研究大会兵庫大会大会記録』. 兵庫大会運営委員会, 2006, 97-106.
- 柏女 霊峰 ほか 「(シンポジウム記録)就学前児童の保育・教育と家庭支援を担う専門職のあり方を問う」平成 16 年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)『児童福祉施設等職員の資質向上に関する研究(主任研究者 金子恵美)』, 2005.3.
- 柏女 霊峰 「現代と子ども家庭福祉」『NHK 社会福祉セミナー』4-6月号, 2006, 59-62.
- 柏女 霊峰 「子ども家庭福祉の制度」『NHK 社会福祉セミナー』4-6月号, 2006, 63-67.
- 柏女 霊峰 「保育サービスの現状と課題」『NHK 社会福祉セミナー』4-6月号, 2006, 68-71.
- 柏女 霊峰 「子ども虐待防止と安全確保」『NHK 社会福祉セミナー』4-6月号, 2006, 72-75.
- 柏女 霊峰 「(講演録)次世代育成支援の動向と保育の課題」『幼稚園幼児教育紀要』30. 広島市立幼稚園協会, 2006, 70-79.
- 柏女 霊峰 「(講演録)児童虐待死亡事例検証委員会報告」『こどもの人権を守り、子ども虐待防止を考えるフォーラム報告

書』千葉県, 2005, 6-12.

柏女 霊峰 ほか「(パネルディスカッション)子ども虐待を防止するために私たちは何ができるか」『こどもの人権を守り、子ども虐待防止を考えるフォーラム報告書』千葉県, 2005, 13-25.

柏女 霊峰 「(講演録)児童虐待・DV被害防止とネットワークの必要性」『全母協通信』117, 2006, 2-11.

庄司 順一 「保育の周辺③～⑭」『保育界』2005年4月号～2006年3月号.

庄司 順一 「児童虐待について(一)(二)」『キリスト教保育』439, 2005, 6-12; 440, 2005, 6-12.

庄司 順一 「肢体不自由児と児童虐待」『はげみ』303(8・9月号), 2005, 9-12.

庄司 順一 「日本子ども家庭総合研究所図書室と私」『新規受入図書資料』238(119), 2005.

庄司 順一 「地域力の復活を」『婦人之友』1月号, 2006, 83.

庄司 順一 「子ども虐待と発達リスク」青山学院大学総合研究所『NEWS SOKEN』5(1), 2005, 4-5.

庄司 順一 「(座談会)チームの一員として心理職としていかに役割を果たすか: 乳児院心理職のこれから」『乳児保育』161, 2006, 2-7.

庄司 順一 「所感と期待: 座談会を終えて」『乳児保育』161, 2006, 8.

庄司 順一 「(特集)子どもを中心に据えた支援再考: 今、求められる子どもの自立支援とは何か」『月刊福祉』4月号, 2006, 18-23.

川井 尚 「(提言)心から身体へ、身体から心へ」『小児保健研究』65(2), 2006, 123.

川井 尚 「Ⅲ. 発育・発達」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2006』東京: KTC 中央出版, 2006, 81.

澁谷 昌史 「(講義)地域における相談援助活動に求められるもの」全国家庭相談員連絡協議会, (10), 2006, 2.

澁谷 昌史 「Ⅷ. 保育・健全育成」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2006』東京: KTC 中央出版, 2006, 273.